

みるく情報

No.788

令和8年

1月

# ふくおか



## 『初日の出』

|                  |     |          |    |
|------------------|-----|----------|----|
| 組合トピックス .....    | 1～9 | 投稿 ..... | 12 |
| MOMOステーション ..... | 10  |          |    |
| 色々問答 .....       | 11  |          |    |

令和8年1月15日 印刷  
令和8年1月20日 発行

■発行所  
ふくおか県酪農業協同組合  
福岡市博多区博多駅前4-32-18

■編集兼発行人  
波多江 孝一

# 新年のご挨拶



ふくおか県酪農業協同組合

代表理事組合長

中島 清

あけましておめでとうございます。  
組合員の皆様におかれましては、ご健勝なる新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、組合員の皆様方、関係機関・団体におかれましては、本組合・酪農事業の発展につきまして、格別なるご理解、ご指導、ご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

さて、令和七年を振り返りますと、一月にトランプ氏が二期目の米国大統領として就任しました。同氏は、自由貿易体制を重視するグローバリズムを否定、保護主義的な高関税化などを推進し、自国の産業と雇用を守ることを、また自国の安全保障を重視するいわゆる「アメリカ・ファースト」の政策を実行しており、世界中を混乱の渦に巻き込みました。

六月にはイスラエルがイランへ軍事攻撃、

トランプ大統領の仲介により「停戦宣言」は行われたものの、パレスチナ・ガザ地区における戦闘行為、まもなく四年目を迎えるロシアのウクライナ侵攻と、世界平和には程遠く大きな火種を抱えたままの状態が続いています。

国内では、コメの価格高騰が大きな問題として噴出、「令和のコメ騒動」と呼ばれ、三月には備蓄米の放出が行われたものの価格は下がらず、備蓄米の随意契約という異例の対応を行い、七月頃によりやく価格が落ちてきたとされました。しかし、実際のコメ生産現場では、従来の価格では生産コストを補えない、との声も聞かれ、政府は食糧安全保障を国の基本理念として位置づけている以上、コストに見合った持続可能な農産物の価格形成の実現に向け尽力していただきました。

七月には、第二十七回参議院議員選挙が行われ、与党の自民党・公明党は敗北、結果石破総理は辞任に追い込まれ、九月にわが国初の女性総理高市総理大臣が誕生しました。高市総理は、矢継ぎ早にガソリン税廃止等各種経済対策に取り組んでいますが、積極財政もあり円安傾向による物価高は続いている中、今後のわが国の経済、財政の動向が注視されます。

酪農を取り巻く情勢について、一昨年の十一月に本県において発生したわが国初のランピースキン病は、昨年一月を最後に現在まで新たな発生はなく、落ち着いた状況を保っています。本病発生以降、対米輸出の問題から一部地域の農場から家畜市場への出荷が制限される等、本県の畜産に多大なる影響を与えてきました。が、国、県、全酪連他関係団体の皆様のご指導とご支援のお陰により、対米輸出問題の早期解決へとつながり、また防疫対策にご尽力いただき、その後の発生が抑制されていることにつきましては、誠に有難く、心より御礼申し上げます。誠に恐縮ですが、組合員の皆様におかれましては、新たな発生が起きないよう、従来にも増して防疫対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

乳価交渉では、九州生乳販連ではコス



ト高を吸収するに至っていない現状を踏まえ、各ブロック指定団体と協調し乳業メーカーと交渉した結果、六月に加工向けが三円/kg(バター)、生クリーム向けは十円/kg、八月に飲用向けが四円/kgの価格改定がなされました。しかしながら、依然として円安傾向は継続し、生産資材価格は高値安定の状態にあることから、酪農経営の抜本的な改善には至らず、更なる交渉が待たれる状況にあります。一方、値上げ後、店頭での牛乳パックの売れ行きは堅調な動きを示していると言われていますが、業務用需要が低迷し飲用向けとしては減少傾向が継続しています。このような状況の中、Jミルクでは、需要拡大活動「牛乳でスマイルプロジェクト」を立ち上げ官民で一体となった牛乳乳製品消費拡大活動に取り組んでおり、昨年末には、自民党役員会において高市総理大臣自ら牛乳を飲んでPRを行っている動画がYouTubeにアップされるなど、多大なるご尽力をいただきました。当組合においては、学校給食が終了し全国的に余乳処理が課題となってくる時期にあわせ、十二月二十三日～二十五日にかけて、組合事務所駐車場にて「ホットミルク」の販売会を行うなど、精力的に牛乳の消費拡大活動に取り組み、不需要

期の需要喚起を行ったところです。

また、令和八年四月からは、食料システム法による合理的な費用を考慮した価格形成制度が始まります。同制度は、事業者に対し食料品の価格に際し「コスト等の考慮」の努力義務を求めたもので、飲用牛乳は、農林水産大臣が指定した品目としてコスト指標を活用した制度の運用を行うとされており、コストに見合った牛乳の販売価格に期待が持たれています。

このように、牛乳消費拡大活動による消費の回復と、合理的な価格形成制度の運用による牛乳の販売価格の適正化が果たされ、乳価改定へ向けた環境整備が進むことを期待しております。

さて、新年令和八年の十二支は「午(うま)」、十干は「丙(ひのえ)」、干支では「丙午(ひのえうま)」の年になります。この年は、躍動する年、大きく飛躍が見込まれる年といわれています。時代は大きく変貌しており、わが国初の女性総理が誕生しましたが、高市総理が打ち出した経済政策が効果を発揮し景気が好転した上、わが国と中国との関係改善が図られ、四年目を迎えるロシアとウクライナとの戦争、ガザ地区における戦闘行為の他世界中の全ての争いが早期に終息し、平和を取り戻すことを切に願っております。

組合では、令和八年四月より組合組織の再編に取り組みます。支所を廃止し、職員は現行の本所に集合、支所は隔日稼働の飼料倉庫(SP)となります。組合員の皆様におかれましては、支所の閉鎖によりご迷惑をお掛けすることも有るかと思いますが、酪農専門農協の基本である、組合から九販連、全酪連、全農等系統を通じて乳業メーカーまでの一連の生乳販売の仕組み、この仕組みを次世代に繋ぐための再編とご理解いただきますようお願いいたします。

酪農を取り巻く状況は、困難な時期が続いてはいますが、酪農関係者が一体となった酪農理解醸成・消費拡大活動等の取り組みが実を結び、酪農が躍動した将来性のある産業と目され、酪農家及び国民の皆様が豊かで安心して暮らせる世界となるよう微力ながら前向きに取り組んで行きたいと考えております。

最後になりますが、本年も役職員一同一体となり事業の推進に邁進してまいりますので、組合員、関係機関、団体の皆様におかれましては、旧年に倍するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

酪農業界が良い年となり、皆様が健康で幸せに過ごされますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

# 新年のご挨拶

日本酪農政治連盟福岡県支部連合会

会長 村上 篤



あけましておめでとうございます。盟友の皆様におかれましては新たな気持ちで良き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、日本酪農政治連盟の活動に多大なご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

また、昨年七月に実施されました第二十七回参議院議員選挙の選挙結果について、当支部が推薦した候補者は、盟友の皆様が多大なご協力により当選することが出来ましたが、与党は大敗し、衆参両院とも過半数割れの厳しい結果となりました。十月には、高市政権が誕生しましたが、二十六年間続いた自公連立政権が解消され、新たに日本維新の会との連立政権が誕生したものの少数与党の厳しい政権運営となっております。

さて、世界情勢を見ますと、一月に米国トランプ大統領が再就任し、「米国第一主義」を掲げ、気候変動政策の後退、移民への厳格対応、関税による国際経済への圧力などを通じて、米国内外に大きな影響を及ぼしています。また、ウクライナやガザ情勢により、国際経済に不確定な要素をもたらしています。

日本経済は、「賃上げと投資」による内需拡大が成長の柱となる一方、国際的な通

商摩擦や人手不足による供給制約がリスクとなり、株式市場は、日経平均株価は史上最高値を更新した一方で、半導体やAI関連株を中心に大きな乱高下となっています。為替相場は、前半は円安基調が続いたものの、日米金利差縮小やFRBの利下げ観測を背景に、徐々に円高方向に推移しています。

このような経済状況により酪農業界においても、飼料、燃料価格をはじめあらゆる資材価格の高止まりの状況が続いており、指定団体の乳価交渉の結果、令和七年六月から加工向け用途が一キログラム三円（うち、バター・生クリーム向けは、一キログラム十円）、八月からは、飲用向け用途が一キログラム四円の改定が行われたものの厳しい状況が続いており、酪農家戸数の減少に歯止めが利かず重大な局面を迎えています。

この様な中、日本酪農政治連盟は、各県組織と連携し、牛乳乳製品の需給調整機能の強化、自給粗飼料生産基盤強化並びに今後の担い手確保に繋がるよう、現行措置の全ての支援対策の継続、拡充を基本とするとともに、優先事項として、①加工原料乳生産者補給金単価、数量の適切な設定・生乳流通改善緊急事業の継続・拡充②令和八

年度農林水産予算総額（補正予算を含む）の増額③牛乳乳製品の消費拡大施策の実施④酪農ヘルパー要員確保に向けた組織運営強化⑤水田活用の直接支払交付金の継続・拡充⑥自給飼料生産が不利な地域等に対する中長期的な支援施策の構築⑦生乳の需給調整機能の実効性の確保及びその対策⑧有害鳥獣被害対策⑨畜産クラスター事業の弾力的運用策について、国へ要請を行いました。

また、当支部では、ふくおか県酪農協と連携し、県や市町に対して経営支援対策の要請を行いました。

酪農は基礎的食料の安定的供給と地域社会の維持等を担う必要不可欠な産業であり、減少に歯止めをかける必要があり、後継者にとつて魅力を感じる産業でなければいけません。

引き続き酪政連は、ふくおか県酪農協と連携を強化し、安全・安心な食料の供給はもちろんのこと、国土・環境の保全、雇用創出等の多面的な機能などの議論を深める運動、指定団体が行う酪農再生産可能な乳価獲得の交渉への継続的な支援活動、牛乳・乳製品消費拡大運動、党派を超えて全国団体・関連団体と連携した酪農支援施策の要請活動等に取り組んで参ります。

最後になりましたが、盟友の皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。



# 新年のご挨拶

福岡県農林水産部

部長

徳田 輝光



あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、健やかに  
新年をお迎えのことと、心からお慶  
び申し上げます。

酪農は、牛乳・乳製品の安定的な  
供給を通じ、私たち県民の豊かな食  
生活や健康を支える大きな役割を果  
たしています。日々、酪農振興にご  
尽力いただいております生産者や関  
係団体の皆様に、厚くお礼申し上げ  
ます。

さて、最近の酪農を取り巻く情勢  
は、配合飼料価格が高値で推移する  
一方で、昨年八月に飲用向け乳価の  
引き上げや重要な副収入である肉用  
子牛価格も上昇するなど、酪農家の  
皆様の所得向上に向けた明るい兆し  
も見えてまいりました。

こうした中、乳牛の遺伝的能力の  
向上と、高度な飼養管理によって、  
一層の生産性の向上を図っていくこ  
とが極めて重要となっております。

県としましても、飼養規模拡大に  
必要な施設・機械の整備や、ゲノム  
を活用した乳牛の改良等による酪農  
の生産基盤の維持・強化を進めると  
ともに、牛群検定データを活用した  
現場指導などに取り組んでまいります。

昨年十月に北海道で開催されました  
「第十六回全日本ホルスタイン共進会」  
では、本県からの出品牛が一等賞を獲  
得するなど、他県に引けを取らない立  
派な乳牛を出品されました。これもひ  
とえに、生産者及び関係者の皆様の酪  
農振興に対する熱い想いの賜物であり、  
深く敬意を表する次第です。

また、一昨年、本県で国内初の発生  
となったランピースキン病につきまして  
は、中島組合長を先頭に貴組合におい  
て、ワクチン接種や吸血昆虫対策を強  
力に推進していただいた結果、新たな  
発生はなく、沈静化している状況です。  
引き続き関係機関の連携による防疫体  
制を一層強化し、ランピースキン病等の

家畜疾病の発生防止に取り組んでまい  
ります。

結びに、ふくおか県酪農業協同組合  
並びに組合員の皆様が一丸となって、酪  
農振興に邁進されますようご期待申し  
上げますとともに、本年が、皆様にとっ  
て素晴らしい一年となりますよう心か  
ら祈念しまして、新年のご挨拶といた  
します。



# 第16回 全日本ホルスタイン共進会開催

去る10月25、26日の両日、第16回全日本ホルスタイン共進会が北海道ホルスタイン共進会場にて開催されました。天候は肌寒さこそあったものの晴天に恵まれ、386頭の出品がありました。

審査員は、ホルスタイン種の部を(一社)日本ホルスタイン登録協会の稲山 智明 氏、ジャージー種の部を同協会の國行 将敏 氏が担当され、スピーディーなジャッジのもと、各部門の乳牛ごとに適切な審査講評がなされました。

最高位賞には、北海道 木村 吉里さんの「サニーウエイ アストロ マツカチエン」が選出されました。福岡県からは代表牛4頭が出品され、第10部の福岡支所 中村毅さん(ビューティガールドアズ タトゥー エルフ ET)が1等賞第6席に入賞されました。

また、福岡に戻り、糸島市長を訪問して結果をご報告いたしました。

上位入賞牛および福岡県代表牛の結果は以下のとおりです。

## ◎上位入賞牛

| 賞    | 部 門         | 所 属 | 出品者名               | 牛 名                          |
|------|-------------|-----|--------------------|------------------------------|
| 最高位賞 | 経産 第16部     | 北海道 | 木村 吉里さん            | サニーウエイ アストロ マツカチエン           |
| 名誉賞  | 未經産 (1～6部)  | 北海道 | 内田 喜久男さん           | ハツピーライン RT アンテロープ ルル         |
|      | 経産 (7～13部)  | 北海道 | 小椋 淳一さん            | ハイロード ラムダ エクスタシー             |
|      | 経産 (14～16部) | 北海道 | 木村 吉里さん            | サニーウエイ アストロ マツカチエン           |
| 準名誉賞 | 未經産 (1～6部)  | 北海道 | 高橋 喜一さん            | セジス ビューティ クリームル サン ユニクス      |
|      | 経産 (7～13部)  | 北海道 | 木村 有斗さん            | グランシヤリオ ラム ウォーク ダン アンネリーゼ ET |
|      | 経産 (14～16部) | 北海道 | 株式会社エスティリアデイルーサービス | エリー スマイル ユニキュア ET            |

## ◎福岡県代表牛

| 賞       | 部 門     | 所 属  | 出品者名(敬称略) | 牛 名                      |
|---------|---------|------|-----------|--------------------------|
| 1等賞 第6席 | 経産 第10部 | 福岡支所 | 中村 毅さん    | ビューティガールドアズ タトゥー エルフ ET  |
| 2等賞 第2席 | 経産 第11部 | 福岡支所 | 小島 興人さん   | ケーオーファーム ボンバー バーバラ B フタゴ |
| 2等賞 第5席 | 経産 第13部 | 福岡支所 | 挾間 祐一さん   | エルドリツジ ラムダ リンダ           |
| 2等賞 第1席 | 経産 第14部 | 福岡支所 | 松永 慎也さん   | MSF ハイオクターン マタラキシア ET    |

これからも是非積極的な共進会への参加をお願いいたしますとともに、乳牛改良を通じて酪農経営向上を目指されてください。



糸島市長を訪問



北海道ホルスタイン共進会場



## 畜魂供養祭開催

十月二十九日(水)組合本所にて、住吉神社の神官のもと、本組合の役職員、九販連の役職員が参列し畜魂供養祭が執り行われました。組合長をはじめ、各代表の方により玉串奉奠(たまぐしほうてん)が行われ、この一年間私たちの食生活を支え、その尊い命を捧げてくれた牛たちの冥福を祈り、深い感謝を表し祀りました。



## 酪農理解醸成・消費拡大イベント

### 「ミルクフェア」〜inアクロスモール春日〜

不需要期となる冬場の需要喚起対策の一環として、令和七年十二月二十日・二十一日アクロスモール春日にて、組合主催による酪農理解醸成・牛乳消費拡大活動「ミルクフェア」を開催しました。イベントでは、模擬牛による搾乳体験・哺乳体験、バター作り体験、牛乳の飲み比べ(L牛乳・ノンホモ牛乳・牛乳)を行いました。

また、牛乳乳製品の販売コーナーでは、



福岡県産の乳製品、九州生まれの牛乳(L牛乳)、ソフトクリーム、ホットミルクを販売し、冬場でも牛乳を飲んでいただけるように多くの消費者へPRを行いました。

今後も牛乳の大切さ、おいしさをアピールし、福岡県産牛乳・乳製品を応戦していただけるような消費拡大活動を行っていきます。



アンテナショップ

「HAKATA牧場」

みるくショップ」開店

寒い冬にはホットミルクを飲んでいただくこと、十二月二十三日(火)～二十六日(金)の三日間、ふくおか県酪本所にアンテナショップ「HAKATA牧場 みるくショップ」を開店しました。今回のアンテナショップは初めての試みで、伊都物語牛乳を使用したホットミルクの他九州産しし牛乳やソフトクリームなどを販売し、多くのお客さんに足を運んでいただきました。

もつと多くの方にホットミルクのおいしさを知っていただけるよう、今後の開店を検討していききたいと思っています。



第二十八回

JAまつりinみわ

十月二十五日(土)に開催された第二十八回JAまつりinみわに、今年も甘木朝倉酪農女性部として参加しました。当日は雨が降ったりやんだりのあいにくの空模様でしたが、たくさんのお客さんと賑わいました。牛乳の早飲み競争、試飲牛乳配布、バター作り体験、牛乳ドーナツ棒販売等、消費拡大活動を行いました。特に盛り上がったのが、牛乳早飲み競争です。参加してくれた小学生達は真剣勝負。大盛況のうちに終了いたしました。





## 第五回 あさくら祭り

十一月二十二日(土)二十三日(日)にピーポト甘木・JA筑前あさくら本店にて開催された「第五回あさくら祭り」に甘木朝倉酪農女性部として参加しました。

二日間ともお天気に恵まれ絶好のお祭り日和。たくさんの方々に、試飲牛乳配布、バター作り体験、乳製品販売、牛乳ドーナツ棒販売等、消費拡大活動を行いました。特にバター作り体験では参加してくれた方々は皆さん感動され、喜んでおられました。



## 第五十一回 ふるさと久留米農業まつり

十一月八日(土)九日(日)、久留米百年公園にて第五十一回ふるさと久留米農業まつりが開催されました。ミルク広場にて試飲牛乳配布、バター作り体験、模擬牛の搾乳体験や子牛体重当てクイズ等のイベントを行い牛乳の消費拡大運動を行いました。また、牛乳・乳製品などの販売は売り切れ御礼!!二日目は雨にもかかわらず長蛇の列ができ、二日間とも大盛況のうちに終了しました。



## 10月～12月で実施したイベント一覧

10月

みるくフェスティバル

(十月二十五日)

美と健康フェスタ

(十月十二日～十三日)

JAみわまつり

(十月二十五日)

11月

海外福岡県人会フェア

(十一月八日)

福岡市農林水産まつり

(十一月八日)

ふるさと久留米農業まつり

(十一月八日～九日)

あさくら祭り

(十一月十二日～十三日)

12月

ミルクフェア

(十二月十日～十二日)

HAKATA牧場

くみるくショップ

(十二月十三日～十六日)

# 「酪青研福岡県連活動

## @雪印メグミルク(株)福岡工場」

二〇二五年十月二十五日、創業一〇〇周年を記念して雪印メグミルク(株)福岡工場で開催された「ミルクフェスティバル」に、日本酪農青年研究連盟福岡研究連盟(以下、酪青研福岡県連)が参加し、来場者の皆さまに向けた酪農理解の促進活動を行いました。

当日は、大石信委員長をはじめ四名の役員がボランティアスタッフとして協力。模擬牛による搾乳体験ブースを担当し、乳しぼりの仕組みや牛の暮らしをわかりやすくお伝えしました。体験は大人から子どもまで幅広い世代に大変

好評で、なかには「楽しかった!」と三回も繰り返し体験してくれたお子さまも。手を動かしながら学ぶことで、酪農をぐっと身近に感じていただけた様子が印象的でした。

また、ブースでは大石委員長が撮影した「酪農家的一天」をまとめたVTRを常時上映。朝の搾乳、牛の健康管理、飼料づくり、衛生管理の流れをドキュメント形式で紹介し、日々の仕事の工夫や安全・安心な牛乳づくりへのこだわりを知っていただく機会となりました。映像をご覧になった体験者からは、「牛乳

の背景にある多くの仕事を初めて知った」「生産者の姿が見えて、ミルクがよりおいしく感じられる」などの声を頂戴しました。

ミルクフェスティバルには当日八五〇名もの皆さまにご来場いただき、会場は終日活気にあふれていました。酪青研福岡県連としては、搾乳体験と映像を組み合わせた発信により、楽しみながら学ぶ場を提供できたと考えています。

酪青研福岡県連は、これからも会員・事務局とともに、勉強会の充実、消費拡大に向けたPR、国内外の視察研修など、地域に根ざした取り組みを継続してまいります。





## 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。  
皆様におかれましては輝かしい新年をお迎  
えのこととお喜び申し上げます。

また、旧年中は、多大なるご尽力をいた  
だきありがとうございます。一月にはスポー  
ツ大会、二月には酪農発表大会があります。  
一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い  
申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年  
のご挨拶とさせていただきます。

ふくおか県酪農青年女性会議  
委員長 井手口明博

本年もよろしくお願い致します(喪中)。  
日本古来では冬至点に予祝をし、その後  
の朝日が『明けまして:』であり、恵方詣り  
をしていました。

二〇二六年は飛躍の年、身体が資本なの  
で皆様ご自愛ください。桜の季節も予祝に最  
高の時です!

ふくおか県酪農青年女性会議  
副委員長 片峰多恵子

新年明けましておめでとうございます。  
旧年は青年女性会議の活動にご尽力いた  
だきありがとうございます。早いもので私達  
の任期もあと少しとなりましたが任期が満  
了するまで精一杯努めてまいりますので皆様  
のご協力のほどよろしくお願いいたします。

二〇二六年は酪農業界が明るく、発展出来  
ることを願い新年の挨拶にさせていただきます。

ふくおか県酪農青年女性会議  
副委員長 穂坂賢太郎

## 糸島酪農青年部です。視察研修に行ってきました!

十二月四日〜五日にかけて糸  
島酪農青年部で熊本県菊池市に  
ある、本田さん・永田さん、阿蘇の  
洞田貫さん、合志市の松島さん  
の牧場へ視察に行ってきました。

本田・永田牧場はフリーストー  
ル牛舎、松島牧場は繋ぎ牛舎、洞  
田貫牧場は搾乳ロボットを導入  
している牛舎でした。本田さん、  
永田さん、松島さんは牛の改良  
に力を入れており、共進会にも  
注力している方々でした。洞田  
貫さんの搾乳ロボット牛舎は牛  
が大人しく、皆で見学していても  
暴れたりせずに、ゆっくり歩いて  
ロボットの中に入って搾られてい  
ることに大変驚きました。

搾乳ロボットは想像していた  
よりもコンパクトな作りでした。  
ロボットへの転向によってゆとり  
もできたそうで、そのできたゆと  
りの時間で、他の作業に時間を

割いたりと有効利用できるとい  
うことで、とても魅力的でした。  
ロボット搾乳は今後酪農経営  
の中で重要な選択肢の一つにな  
るかと思います。とても有意義  
な視察研修でした。







# 色色問答

筑紫 耕作

## 圃場に何も植わっていない・・・～今できる圃場管理～

今の時期、近所を散歩すると野菜やイネ、牧草を収穫したあと、何も栽培されていない畑や水田を目にします。日本の少ない耕地面積を考えると非常にもったいないなと思いながら歩いています。牛を飼っている農家の場合、今の時期はイタリアンライグラスが青々と絨毯のように広がっているのが通常ですが、何かしらの理由で何も植わっていないのであれば、できることなら冬場の土づくりをするか、または遅れていた牧草栽培をやって欲しいなと思います。

土づくりをする場合、少しでも腐熟(発酵)した堆肥を入れることです。生堆肥は肥料としての効果は大きいのですが、団粒構造を作る機能が少ないため、土づくりにはあまり貢献しません。少しでも発酵して腐熟した堆肥を勧めます。土壌が酸性に傾いている場合は石灰も同時に散布するとよいでしょう。また、冬の厳寒期に行う土づくりもあります。できるだけ深く掘り起こし、表面を平らにならさず、ゴツゴツした状態で1ヶ月ほど放置します。いわゆる土壌を寒風にさらす「寒起こし」と言われるものです。土壌の団粒化の促進(物理性の改善)と土壌消毒(病害虫の低減)、また雑草の抑制を兼ねたもので、一般的に1月～2月の厳寒期に行うのがよいとされています。既に土がよい状態で微生物のバランスが取れている時は、有用な土壌菌の減少につながり逆効果になることもありますので行わない方がよい場合もあります。この時期の土づくりは農作業の閑散期にあたっていて余裕を持ってできますので、何も作る予定がないのであれば土を見直して欲しいと思います。

土壌の状態もよくて夏作まで空いてしまうようであれば、イタリアンライグラスが利用できます。通常の秋播きに比べると収量は半減しますが、何も収穫しないよりはましです。イタリアンライグラスは発芽するまでは水に弱いこともあり、排水の悪い圃場は避けるかまたは排水対策が必要です。特に水田では気をつける項目です。寒い時期に播くことから発芽に時間がかかり出芽率も落ちますので、播種量は通常より3割ほど多めにします。また覆土は通常5mm程度ですが、霜が降りて株が浮くことを踏まえ覆土を1～2cmにしてしっかり踏圧します。発芽後のまだ株が小さいうちは強霜で根が浮くことがあります。その際はいわゆる麦踏み兼ねてローラーでの鎮圧が必要となります。イタリアンライグラスの品種は、夏作の播種時期までに1～2回は刈り取れる早晩生の明確なものを使います。この時期に播いても収穫の目安である出穂時期は秋播きイタリアンライグラスと変わりません。夏作に何を作るかでいつ頃までに何回刈取るかを決め品種の早晩生を選びます。播種前には堆肥と石灰、その後に肥料を施用するのは必須です。堆肥は10アール当たり2トン程度、石灰は土壌酸度にもよりますが5～60kg、化成肥料は播種と同時に行い40kg程度とします。化成肥料を施用することで3月に入ってから温度上昇時の生育が目に見えて違います。

圃場が空いているのは本当にもったいないことです。多少の手間はかかりますが、イタリアンライグラスの栽培で購入飼料を減らすことができれば、メリットはあるのではないかと思います。もし、空いている圃場があるのであれば、作ってみてください。緑の少ないこの時期にイタリアンがキラキラ輝いている光景はとても気持ちよく豊かな気持ちになります。



# 牛舎を歩きながら考えた、水のこと

あけましておめでとうございます。そして、はじめまして。全酪連の飯山です。このたびこちらの枠をいただき、私の自己紹介も兼ねながら、日々の農場運営の中で少しでもお役に立てそうなことをお伝えできればと思っています。拙い文章ではありますが、どうぞ気軽にお読みいただければ幸いです。



全国酪農業協同組合連合会  
福岡支所

飯山寛子(福岡県担当)

私は全酪連に入会して2年目になります。大学では農業と途上国支援について、高校では畜産について学びました。高校時代には、北海道および地元・神奈川の酪農家で、短期間ではありますが研修させていただく機会がありました。その中で、「酪農は奥深く、難しい。けれども、だからこそ工夫や考え方の次第で、さまざまな可能性が広がっていく仕事なのではないか」「現場で働く姿は格好いい。そんな背中を支える立場に関わっていただけたいな」と感じたことが、全酪連に入職するきっかけとなりました。

8月から本格的に現場を回り始めましたが、正直なところ、最初は酪農について分からないことだらけでした。どの牛を見ても違いが分からず、「みんな同じ牛じゃん…」と心の中で思っていたのをよく覚えています。ですが、牧場にお邪魔する中で、牛の見方や飼養管理で大切にされていることを一つひとつ教えていただき、最近では「前より少しふっくらしたかな」「何となく元気がなさそうだな」「牛床のサイズやません棒の高さが合っていないのかもしれない」といった小さな変化に、少しずつです

が気づけるようになってきました。そんな中で、最近特に気になっていることのひとつが、飲水量と乳量の関係です。飼料設計や配合内容についてのお話はよく出る一方で、水については「特に問題ないと思う」と、後回しになりがち

な印象を受けます。ですが、実際に牛舎を歩いてみると、飲水環境に「ちょっと気になるな」と感じる点が見つかることも少なくありません。一般的に、搾乳牛の飲水量は泌乳量や季節によって異なりますが、1日あたり80～120ℓ程度とされています。乳の約9割は水分でできているため、牛が十分に水を飲めていないと、まず採食量が落ち、その結果として乳量や体調にも影響が出やすくなります。私は牧場にお邪魔した際、水槽やウォーターカップに指を入れて水温を確かめることがあるのですが、特に冬場は水が冷たくなりすぎていたり、凍結や流量不足が起きていたりして、知らず知らずのうちに飲水量が落ちてしまっているケースも見かけます。また、ウォーターカップの位置や流量の関係で、牛が一度に十分な量を飲めていない場面に出会うこともあります。これらの改善は簡単ではありませんが、配管の断熱やパイプ径の大きな配管にすること等が選択肢となってきます。

そして、乳量アップを考える中で、TMRへの加水量について考えさせられることもありました。乾物率が高くパサついたTMRでは、選び食いが起きやすくなったり、食い込みが鈍くなったりすることがあります。また、これは私自身の体験ではありませんが、TMRへの加水量を1日1頭あたり4ℓほど増やしたところ、乳量が1kg程度伸びたという事例も伺っています。夏場は二次発酵の心配もあり、思い切った加水が難しいこともありますが、飲水量が下がりやすく、比較的风险の少ない冬場であれば、加水量を見直してみるのも一つの方法ではないかと感じています。水を「飲ませる」だけでなく、「飼料から摂ってもらう」という考え方も選択肢に入れてみてはいかがでしょうか。

飲水や加水は、大きな設備投資をしなくても見直せる点が多い一方で、タンク容量や配管の太さなど、設備の都合ですぐには対応できない場合があるのも事実です。現場を回っていると、「まさか、ここがネックになるとは」と思われる場面に出会うこともあります。教科書的には正しくても、実際の作業動線や人手、設備条件と合わず、現場では使いにくいということも少なくありません。

そうした難しさを感じながら、「どうしたら今の状況の中で、少しでも良くできるだろうか」と考える日々です。もし私の考えが現場の実情から少し離れそうになっていたら、ぜひ遠慮なく「ちょっと待てよ」と声をかけてください。その一言が、私にとって何よりの勉強になります。この枠も、そんな会話の延長線上にあるものとして続けていけたらと思っています。

それでは本年もどうぞよろしくお願いいたします。

あけましておめでとうございます  
本年もよろしく願いいたします

|                 |                  |                       |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                            |                                 |
|-----------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------------------|---------------------------------|
| 監<br>事          | 代<br>表<br>監<br>事 | 理<br>事<br>参<br>事      | 理<br>事           | 理<br>事           | 理<br>事           | 理<br>事           | 理<br>事           | 理<br>事           | 副<br>組<br>合<br>長<br>理<br>事 | 代<br>表<br>理<br>事<br>組<br>合<br>長 |
| 羽<br>野<br><br>浩 | 松<br>隈<br><br>進  | 波<br>多<br>江<br>孝<br>一 | 中<br>垣<br>広<br>之 | 中<br>野<br>実<br>夫 | 吉<br>田<br>政<br>弘 | 石<br>橋<br>義<br>則 | 小<br>島<br>興<br>人 | 江<br>藤<br>秀<br>樹 | 村<br>上<br>篤                | 中<br>島<br>清                     |

## 酪農共済給付金のご請求、忘れていませんか??

ちょっとしたケガで病院に行ったことはありませんか?

事故や病気にあわれたらお気軽にご相談ください。

また、「ハイメディカルスーパー」ご加入者に

ついては、白内障手術や大腸ポリープ切除手術等、病気日帰り手術の見舞金一律1万円給付されます。

お問い合わせは各支所まで。



病気で  
入院や手術をした



ケガで通院や  
入院・手術をした



例



新生ライオン  
駆けのぼる

身体作って

ミルク飲み

駆け巡る

幸運連れて

ひのえうま

俳句・川柳コーナー

